

高齢福祉と障害福祉の 連携を考える意見交換会

～ 分野・制度の壁を超える ～



他地域の
事例に学ぶ

地域・分野を
超えた交流を
深める

新たな
可能性を
探る

●日時 2025年3月18日(火)
14:00～17:00

会場参加が
おすすめ!

※オンライン (ZOOM)
参加も可能です。

●会場 TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前
【ホール5C】定員70名程度 (先着)
(札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館5階)

●対象 道内自治体職員および高齢・障害福祉関係者

●申込方法 Googleフォームまたはメール (別紙) 期日は3月11日 (火) まで

全体進行

(一社) 地域包括ケア研究所
理事 大曾根 衛氏

情報提供

支援体制構築プロセスと 実践例

① 愛知県岡崎市の取組事例

講師 ・ 岡崎市ふくし相談課 早川小まり氏
・ 岡崎市南部地域福祉センター
地域包括支援センター長 桑 順子氏

② 石川県加賀市の取組事例

講師 ・ 加賀市相談支援課長 西 ミキ氏
・ 加賀市地域包括支援センター
(基幹相談支援センター) 岡田法子氏

①岡崎市の取組概要【人口38.4万人】

- ・ 令和3年度からの重層的支援体制整備事業の開始にあたり、ふくし相談課を新設。
- ・ 高齢、障害、生活困窮の関係各課を同一フロアに集約し、世代・属性を問わない相談に一体的に対応している。
- ・ 各圏域の包括の相談機能も強化し、第1層と第2層の役割分担を明確にすることで、分野横断的な支援体制を整えている。

②加賀市の取組概要【人口6.2万人】

- ・ 令和3年度に組織再編し、福祉事務所、高齢部門、障害部門を統合した相談支援課を新設。
- ・ 相談支援課は、地域包括支援センター(基幹型)、基幹相談支援センター、福祉事務所を包含し、ひきこもり、困窮者支援等も含めた18歳以上の総合相談窓口機能を有している。
- ・ 身近な相談窓口として、市内16か所ある地区包括と障害の相談支援事業所(6か所)と連携し、地域の相談に対応をしている。

意見交換・交流

- ・ 行政や現場の困りごと・工夫の共有
- ・ 高齢・障害連携における新たな可能性の探求

主催

(一社) 北海道総合研究調査会 (HIT) 担当: 中西、横田 (文)

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館3階

011-222-3669

rouken@hit-north.or.jp

申込みフォーム
はこちらから

